

# コーポレートカード利用者は ETC2.0への切り替えを

利用月額	割引額	割引率
5,000円	0円	0.00%
10,000円	1,000円	10.00%
15,000円	2,500円	16.67%
20,000円	4,000円	20.00%
25,000円	5,500円	22.00%
30,000円	7,000円	23.33%
40,000円	11,000円	27.50%
50,000円	15,000円	30.00%
100,000円	35,000円	35.00%
150,000円	55,000円	36.67%
200,000円	75,000円	37.50%
300,000円	115,000円	38.33%

高速道路を利用する組合員が増えていきます。組合では負担軽減のため割引率の高い「コーポレートカード」の紹介に取り組んでいます。

しかし今年一月から、上表に記載されている割引の適用はETC2.0装着車に限定されました。

国が渋滞、危険回避情報などを提供できる2.0の普及を進めているためです。ところが、コーポレートカード使用組合員のなかでも、まだ従来機を使用して

**ETC2.0装着車**  
1台当たり的高速料金額/月

5,000円～10,000円まで	約20%割引
10,000円～30,000円まで	約30%割引
30,000円を超える部分	約40%割引

## 「今年も一年ガンバロー」新年会で親睦深める



1/14支部執行委員会新年会兼今成さん送別会を佐野市内で開催。各人新春の決意は・・・



1/8東成資材分会新年会。過半数が元気な「準高齢者」。今年も健康と事故に気をつけて頑張ろう。

# 白ナンバー排除許すな

## 国交省下請指導ガイドラインで現場混乱

### 一人親方なら社会保険未加入問題なし

県内の一部公共工事の現場で、就労していた組合員が排除される問題が発生しています。一部業者が現場に現れ「白ナンバーは違法」「社会保険、雇用保険に入っていない」と工事関係者に「告発」、トラブルを嫌悪した業者が組合員を排除したようです。

各地でこのような問題が起こっています。国土交通省は「下請指導ガイドライン」で今年四月以降「適正な保険」に加入していない労働者は現場に入場させないとしています。このガイドラインを悪用して「白ナンバーダンブ」「一人親方ダンブ」の排除を一部業者が進めています。

この問題では昨年十二月九日、国会で日本共産党の清水忠史議員が国交省に確認しています。

「一人親方は社会保険、雇用保険に加入できない。国保、国民年金に加入していれば就労することは問題ない」これが国交省の見解です。

しかし、現場業者は社会保険などの制度にたいする理解が浅く、安易に白ナンバー一人親方を排除を行っています。社会保険は法人が従業員五人以上の事業所に加入が義務付けられています。しかし、多くの現場で末端にまで必要な法定福利費が支払われていません。加入したくても加入できない業者も少なくありません。

組合ではこのような実態を国や県に訴え、加入義務のある業者に適正に福利費が支払われるよう求めます。

### 高齢者の事故増加 組合員の重点課題に

高齢者の交通事故が社会問題になっていまいす。年齢が増えています。年齢が関係していると思われる事故も増えていまいす。

七十七歳以上の組合員 昨年秋、プロドライバーとして長年安全運転



昨年11月10日、下野市自治医大駐車場で84歳の男性が運転する車が暴走。3人が死傷。

転に努めてきた組合員が信号機を見落として重傷事故を起こしました。本人は「走り慣れた交差点です。なぜ赤信号に気づかなかつたのか自分でも信じられない」と話しています。

今年三月十二日改正道路交通法により、リスクの高い運転者対策として「臨時認知機能検査・臨時高齢者講習」などが実施されます。

しかし、高齢プロドライバーの場合、問題の背景には深刻な「家計の事情」があります。組合では今後この問題を重点課題と位置付け、家族からの相談も含めて対応する予定です。

- 【当面の主な日程】
- 二月一日～三月十三日「確定申告相談会」
  - 一月二十八日～三十日「中央委員会・ダンブ部会総会」
  - 一月四日～五日「栃木県本部旗びらき執行委員会」
  - 二月九日～十日「関東地方協議会」
  - 二月十四日「関東ダンブ幹事会」
  - 二月十五日「NIPPON生六分全相談会」
  - 二月二十五日「栃木県労連評議員会」
  - 今年の健康診断会は三月二十六日(日)を予定。詳細は次号で。